

レインボーほっとラウンジグラウンドルール

法政レインボーほっとラウンジはすべての人が安心安全でいられるための居場所です。
そのために、グラウンドルールの遵守をお願い致します。

【0. レインボーほっとラウンジってなに？】

- セクシュアルマイノリティや、そうかも？と思っている人&アライ(味方、理解者)の居場所
で、学生スタッフが企画・運営しています。
- 私たちはあなたの「話をしない、したくない」という気持ちを尊重します。何もせず、ぼーっ
とするためにレインボーほっとラウンジに来ることも大歓迎です！
- レインボーほっとラウンジは入退室・席の移動・飲食自由です。

【1. プライバシー保護・アウティング防止】

- レインボーほっとラウンジで見聞きした情報、特に他人の個人情報はいかなる内容で
あっても口外してはいけません。
 - 「こんな作品を作った！」「こんなゲームで遊んで楽しかった！」「のんびりした！」
などの内容であれば、誰かに伝えても構いません。レインボーほっとラウンジ側
も、この約束を守ります。

【2. 他者の尊重・差別・ハラスメントの禁止】

- レインボーほっとラウンジは、ジェンダーや性的指向、年齢、国籍、ルーツ、人種、民族、
文化、宗教、障がいの有無、雇用状況、話し言葉などに関する差別を許容しません。
- 他者の属性(ジェンダーアイデンティティ、セクシュアリティ、恋愛の指向)を名前や声、見
た目で決めつけないようにしましょう。
 - 「あの人は筋肉があって声が低いからきっと男性だろう」や「あの人は女性っぽい
名前でスカートを履いているからきっと女性だろう」、「あの男性は端正な顔立ち
で身長が高いから恋愛対象は女性だろう」などと一方的に他人を決めつけないよ
うにしましょう。
- 相手のことは、まずは「さん」で呼びましょう。相手からの申し出があった場合に限り「ちゃ
ん」、「くん」で呼びましょう。
- この社会にはさまざまな経験・考えを持つ人がいます。自分の考えることとは違うなと
思っても、相手の話を否定せず、尊重・傾聴しましょう。
 - 差別やマイクロアグレッション、ハラスメントなどの暴力はこの限りではありません
ん。
- なるべく一人称で話すようにしましょう。

- 例えば、「私はこう思いました」、「私の場合はこうです」などにしましょう。自分の経験や考えを一般化してしまうと、他者の存在をいないことにしてしまうおそれがあります。「私の経験から考えると、こういう考えの人はいないと思う」、「私の考えは、こういう人しか存在していないと思う」などの発言には気をつけましょう。

【3. 差別発言/行為】

- 差別発言/行為、マイクロアグレッション、ハラスメントがあった場合、学生スタッフが介入し注意をします。差別の指摘を受けた場合には、それを受け入れましょう。差別は社会構造により作られるものです。社会構造にいる誰もが差別をします。皆でこの社会構造を変えていきましょう。
- レインボーほっとラウンジのなかで差別発言/行為、マイクロアグレッション、ハラスメントが行われ、その場の安全が保てないと学生スタッフが判断した場合、差別的発言・行為の発言者/行為者に退出を求めます。

【4. トリガー防止】

- 過去の嫌な出来事などを思い出す原因のものごとやきっかけを「トリガー」といいます。トリガーになりやすい話題が会話の中にあった場合、学生スタッフが話題の変更を促すことがあります。トリガーが発生した場合は、「自分が良いと感じるもの・こと」をして気分を変えてみてください。ラウンジには個室があるので、そこも利用できます。ラウンジを出て、外に行ってもかまいません。
- 性的な話をする際は全員の同意をとってから話す必要があります。それには、全員が安心・安全な気持ちで、同意をするかしないかを表明できる環境が必要です。今、レインボーほっとラウンジには、その環境がありませんので、性的な話は控えてください。

【5. その他】

- 匂いの強い食事、香水、柔軟剤はご使用をお控えください。
- しんどい気持ちになったり、困ったりしたことがあればいつでも学生スタッフまでお声がけください。
 - しんどいこと、困ったことについてのご指摘やご感想は[こちら](#)のフォームからお送りいただくことも可能です。
- その他、必要に応じて学内の相談窓口もご紹介できます。